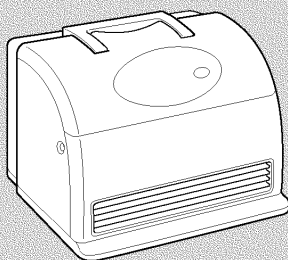
型式名	RC-290N-1・2

ガスファンヒーター
取扱説明書 家庭用

140-2002型
140-2012型

ご愛用の皆様へ

このたびは、ガスファンヒーターをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

- ●ご使用になる前にこの取扱説明書をお読みいただき安全に正しくお使いください。
- ●幼いお子様にはさわらせないでください。
- ●内容をよくご確認のうえ、別添の保証書とともにこの「取扱説明書」を大切に保管してください。
- ●取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにて再購入してください。
- ●この機器は国内専用ですので、海外で使用しないでください。
- ●この機器は家庭用ですので、業務用のような使い方をされますと著しく寿命が縮まります。

もくじ

ページ

お問い合せ先

別添 大阪ガスのお問い合せ先をご参照願います。

⚠危険

ガスくさいときはガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガスにご連絡ください。

RC-290-76(00)
020600Ⓚ

安全上のご注意 必ずお守りください

この機器を安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

この取扱説明書および機器への表示では機器を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表　示	意　　　味
⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を表しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。

一般的な危険・警告・注意　発火注意　回転物注意　高温注意　一般的な禁止　分解禁止　火気禁止　ぬれ手禁止　水ぬれ禁止　必ず行う　プラグをコンセントから抜く

⚠危険

●ガス漏れ時使用厳禁（ガス漏れ時の処置）

ガス漏れに気づいたときは

火気禁止

ガス漏れに気づいたときはガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない。

炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

火をつけない。プラグの抜き差しをしない。

火気禁止

電気器具（換気扇など）のスイッチの「入・切」をしない。

禁止

必ず行う

①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる。 ➡ **②窓や戸を開けガスを外へ出す。** ➡ **③もよりのガス事業者（供給業者）に連絡する。**

お部屋のガス栓（例）

⚠警告

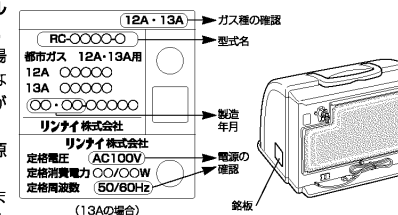
●使用ガスおよび使用電源について

使用ガスおよび使用電源を確かめる

確認する

機器本体銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）を確認する。

- 表示のガスおよび電源が一致していない場合、不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発着火や機器が故障する場合があります。
- 転居されたときも、供給ガスの種類・電源の種類を必ず確認してください。
- わからない場合はお買い上げの販売店、またはもよりのガス会社に連絡してください。

（13Aの場合）

●火災予防

燃えやすいものを近くに置かない

発火注意

機器の上や周囲には燃えやすいものを置かない。また、機器を設置の際は、家具・壁・カーテンなど燃えやすいものに近づけない。

火災の原因になります。

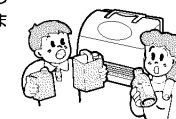
可燃性ガスの近くで使用しない

禁止

ガソリン・ベンジン・スプレーなど引火のおそれのあるものを近くで使用している際は、機器を使用しない。

引火して火災のおそれがあります。

火を消し忘れない

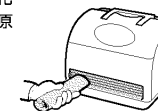
禁止

火をつけたまま就寝や外出は絶対にしない。

火災など予期せぬ事故の原因になります。（タイマー運転の場合はのぞく）

温風吹出し口には物を入れない

禁止

温風吹出し口やエアフィルターの中に紙・布・異物などを入れたり、ふさいだりしない。

異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。

●換気必要

換気のご注意

●使用中は1時間に1回、1分間程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして換気する。
空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。

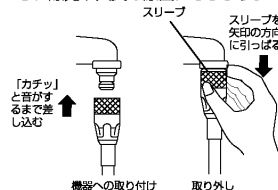
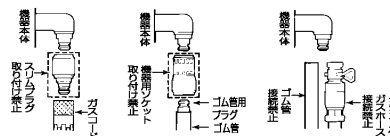
●スプレー缶厳禁

スプレー缶を機器の前に置かない

スプレー缶（殺虫剤・ヘアースプレー・カセットコンロ用ボンベなど）を機器の前方に置かない。
熱でスプレー缶内の圧力が上がり、爆発するおそれがあります。

●ガス接続（ガス事故防止）

ガスコードは当社指定のものを使用する

●ガスコードは必ず当社指定のガスコードを使用する。（確実に接続する。）
確実に接続されていないとガス漏れが生じ、爆発や火災の原因になります。

●スリムプラグ取り付け禁止
●機器用ソケット取り付け禁止
●ガスコード以外のガスホース接続禁止
ガス漏れが生じ、爆発や火災の原因になります。

●温風をじかに当てない

低温やけどに注意

温風の直接あたる場所で就寝しない。
低温風でも連続的にあたると低温やけどの原因になります。
（特に乳幼児、お子様、お年寄り、病人など、自分の意思で身体を動かせない方、疲労が激しい時、深酒した時、皮膚の弱い方などがお使いのときは、周りの方が注意してください。）

温風を長時間体に当てない

温風をじかに長時間体に当てない。
体調悪化や健康障害の原因になります。

●異常時の処置

異常時には

使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度が感じられた場合、使用途中で消火する、または点火しない場合は、すぐに使用を中止し、ガス栓を閉じる。
そのままにしておくと、爆発や火災の原因になります。
異常を感じたときは「故障かな？と思ったら」（31・32ページ）および「安全装置が作動したときの処置」（33・34ページ）に従ってください。
上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止して、お買い上げの販売店、またはもよりのガス会社にご連絡ください。

《地震、火災など緊急の場合》
地震、火災など緊急の場合は、すぐに使用を中止しガス栓を閉じる。

●分解禁止

機器を分解しない

修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わない。
異常作動してけがや事故の原因となります。

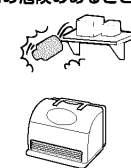
⚠注意

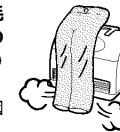
●火災予防

火をつけたまま移動しない

火をつけたまま持ち運びしない。
ガスコードが抜けたり、折れたりしてガス漏れや異常燃焼の原因になります。また、やけどの原因にもなり危険です。

落下物に注意

たなの下など、落下物の危険のあるところでは使用しない。
火災のおそれや、機器故障の原因になります。

用途について

暖房以外の用途（衣類の乾燥など）には使用しない。また、衣類・毛布・シーツなどを機器の上に置いたり、掛けたりしない。
火災や思わぬ事故の原因になります。

火のついたものを近づけない

火のついたタバコ・線香などを近づけない。
引火して火災の原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください ⚠注意 ⚠注意

●使用上の注意（幼いお子様にはさわらせないでください。）

やけどに注意

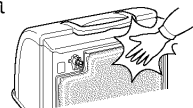
高温注意

使用中および使用直後は、操作部、取っ手以外は高温になっているので手を触れない。
やけどのおそれがあり危険です。特に温風吹出し口付近、エアフィルター部などの高温部には触れないでください。

高温注意

使用中、停電により機器が停止したり、誤って電源プラグを抜いて機器が停止したときは、機器の後面（エアフィルターや取っ手部分）が高温になっているので、手を触れない。
やけどのおそれがあり危険です。

機器に乗らない

禁止

機器の上に腰かけたり、乗ったりしない。
落下・転倒などにより、けがの原因になることがあります。また、機器の故障の原因になります。

温風吹出し口へのいたずらに注意

回転物注意

温風吹出し口に指や鉛筆などを入れない。
対流ファンが回転していますので、けがをするおそれがあります。（特に、小さなお子様のいるご家庭はご注意ください。）

床面変色についての注意

禁止

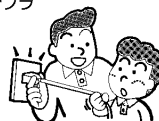
温風吹出し口の前にものを置いたり、機器の後面（エアフィルター部）をふさがない。
機器が過熱し、やけどや機器故障の原因になります。また、床やじゅうたんなどの変色やヒビ割れの原因になったり、リモコンなどのプラスチック製品は変形のおそれがあります。

電源コードを持って引き抜かない

禁止

コードを直接ひっぱらない。
コードの断線などで発熱することがあります。抜くときは必ずプラグを持ってください。

殺虫剤、防虫剤使用時の注意

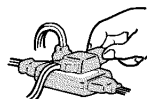
禁止

室内くんじょうタイプ（発煙型）の殺虫剤、防虫剤を使う場合は運転をしない。
機器内部に薬剤成分が蓄積し、その後吹出し口から放出されて、健康に良くないことがあります。
殺虫剤、防虫剤を機器にかけない。
機器の樹脂部が変色したり、ヒビ割れすることがあります。

たこ足配線禁止

禁止

たこ足配線はしない。
コンセントが過熱され、発火の原因になります。

電源プラグを抜いて消火しない

禁止

電源プラグを抜いての停止はしない。
機器の過熱の原因になります。

電源プラグの不完全接続禁止

必ず行う

電源プラグの差し込みは確実に行う。
差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。

●電気事故防止

電源コードの破損・加工禁止

禁止

電源コードを切断して延長しない。
いたんだ電源コードは使用しない。
機器の設置は電源コードがコンセントに届く範囲内とする。
火災の原因になります。

●ガス事故防止

ガス栓を閉じる

ガス栓を閉じる

使用後は必ず運転スイッチを切り、消火したことを確かめる。
外出や、長時間使用しないときは、ガス栓を必ず閉じる。

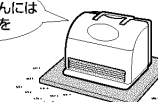
お部屋のガス栓（例）

●設置場所

じゅうたんの上で使用する場合

必ず行う

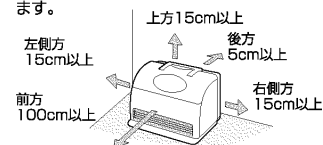
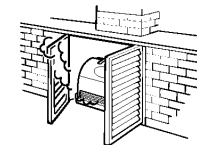
毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は、機器の下にじょうぶで不燃性の敷き板などを敷いて水平にする。
じかにじゅうたんの上に置くと、じゅうたんが温風の熱で変色することがあります。

禁止

電気カーペット・温水マットの上には設置しない。
機器の重みで電気カーペット・温水マットが故障する場合があります。
また、電気カーペットや温水マットの熱で機器が正しい制御をしないことがあります。

周囲の防火措置

確認

家具や壁、棚など可燃性の部分から十分離して設置する。
火災や機器過熱によるやけどの原因になります。

禁止

温風吹出し口の前にギャラリ（格子）を取り付けない。
温度調節が正しく行われず火災の原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠注意

特殊な場所は避ける

禁止

乾燥室・温室・動植物の飼育室など、特殊な場所では絶対に使用しない。
植物が枯れたり動物が死亡するおそれがあります。

スプレーや化学薬品を使用する場所に設置しない

禁止

スプレーや化学薬品を使用する場所および綿ぼこりの多い場所（理・美容院や、メッキ・塗装工場など）では使用しない。
機器の故障や、有害なガスや腐食性ガスの発生により健康を害したり、金属がさびたりする原因になります。

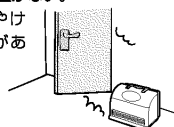
浴室など水のかかる場所に設置しない

水ぬれ禁止

浴室など高温・多湿・水のかかる場所には設置しない。また、上に花びんや金魚ばちなどを置かない。
漏電して感電・火災の原因になります。

ドアの近くに置かない

禁止

ドアの近くなどに置かない。
機器の転倒や、やけどなどのおそれがあり危険です。

壁に掛けたり、机や台にのせて使用しない

禁止

壁に掛けたり、机や台にのせて使用しない。
落下や転倒によりけがの原因になります。

油成分が浮遊している場所では使用しない

禁止

機械油や、天ぷら油など油性分が浮遊している場所に置かない。
機器の樹脂がヒビ割れすることがあります。

水平な所に設置する

必ず行う

機器は水平な所（確実に設置できる所）に設置する。
機器が傾くと温風の方向が変わり、温風が当たる部分が変色やヒビ割れすることがあります。

段差のある床面に設置しない

禁止

段差のある床面に設置しない。
温風が当たる部分が変色やヒビ割れすることがあります。

（前方は1m以上離す）

●点検・お手入れ

温風吹出し口のお手入れ

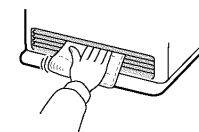
掃除する

1カ月に1回以上は、温風吹出し口のほこりを電気掃除機などで掃除してください。この場合、運転を停止してルーバーがじゅうぶんに冷え、対流ファンが止まり、温風が出なくなったのを確かめてから行ってください。温風吹出し口のルーバーを強く押えたり、衝撃を加えたりしますと、ルーバーが折れ曲がったりして、温風の方向が変わり、床(カーペットなど)が変色することがありますのでご注意ください。

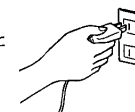
⚠注意

けがに注意

禁止

点検やお手入れのときに、温風吹出し口やエアフィルター部のすき間に指を入れないでください。
けがの原因になります。

電源プラグのあつかいにご注意

プラグをコンセントから抜く

点検やお手入れの際は必ず電源プラグを抜いてください。
感電やけがをすることがあります。

必ず行う

電源プラグの刃や刃の取り付け面のほこりは、よく拭き取ってください。
電気絶縁が低下し、火災の原因になります。

ぬれ手禁止

電源プラグは、ぬれた手で触らないでください。
感電やけがをすることがあります。

お願い

雷に注意

プラグをコンセントから抜く

雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を中止して電源プラグをコンセントから抜いてください。
雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

機器に強い風を当てない

禁止

強い風の吹き込むところでは使用しないでください。
炎が風で消えることがあります。

結露に注意

換気する

この機器は室内燃焼機器のため、気密の高いお部屋などでは換気をしてください。
壁や天井が結露する場合や、OA機器等に機能障害が生じる場合があります。

機能と特長

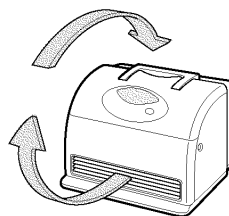
このガスファンヒーターは、お部屋を快適に暖かくするようにと、次のような特長をそろえました。
これらの機能をじょうずにお使いの上、あなたのお部屋で活躍させてください。

簡単操作の ワンプッシュ点火・記憶機能付

運転・停止は運転スイッチを押すだけのワンプッシュ操作です。
運転スイッチを切ってもマイコンが設定室温、タイマー予約時刻、ロックの選択などを記憶して、再設定の手間を省きます。

くわしくは 18〜20・28ページ参照

足もとから暖かい 温風下吹出し

温風は、足もとから吹き出します。部屋の空気を循環させながら暖房するのでむらがなく快適です。

比例制御で快適暖房 室温調節・室温表示機能付

お部屋の温度を、お好みの室温に設定しておくと調節機能（ガス比例制御式）がガス量をコントロールし、快適な室温に保ちます。設定室温、現在室温は、デジタルで表示します。

くわしくは 19ページ参照

また、表示部は室温のほか、現在時刻、おはようタイマー設定時刻、異常時の故障内容などの情報を表示し、お知らせします。

くわしくは 21〜24・33・34ページ参照

お子様のいたずらを防止 ロック機能付

ロックをセットしますと運転スイッチの停止操作以外の操作はできません。

くわしくは 20ページ参照

暖かい部屋でお目覚め、暖かくしておやすみ おはよう、おやすみタイマー付

デジタル表示おはようタイマーでセットらくらく!!

くわしくは 23〜26ページ参照

おやすみタイマーのセットで、暖かい部屋でおやすみになれます。
（1時間で自動停止します。）

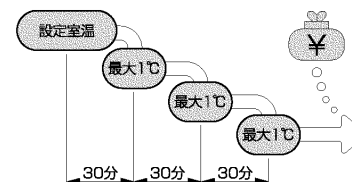
くわしくは 27・28ページ参照

快適性を損なわない経済暖房 オートセーブ運転機能付

室温が設定室温に到達後、30分ごとにお部屋にあった下げ幅で、3回にわたり設定室温を自動的に下げます。

くわしくは 20ページ参照

エアフィルターのほこり詰まりをお知らせする フィルターサイン付

エアフィルターのほこりの詰まりをお知らせするフィルターサイン機能が付いています。サインが点滅したら、エアフィルターの掃除を!!

くわしくは 30ページ参照

もしものために 安全装置付

使用中の万一の事故を未然に防ぐ各種安全装置付です。

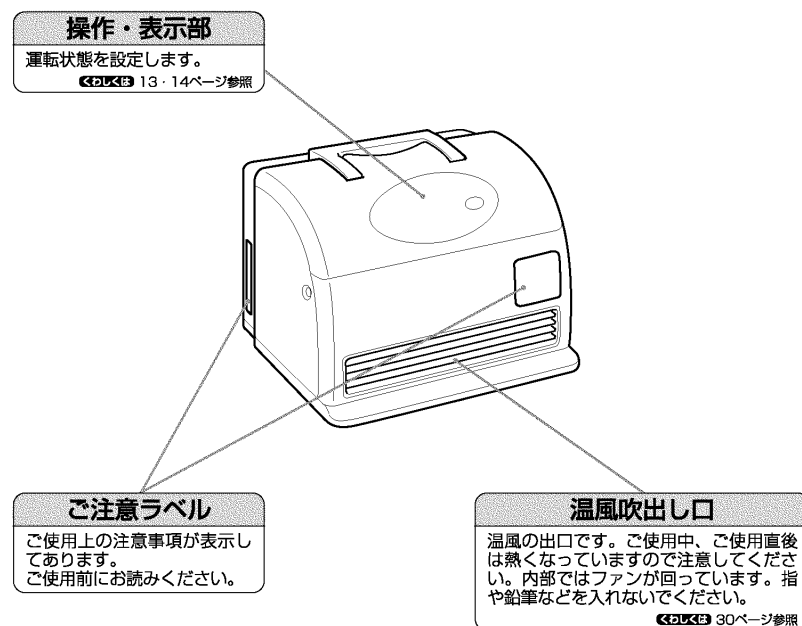
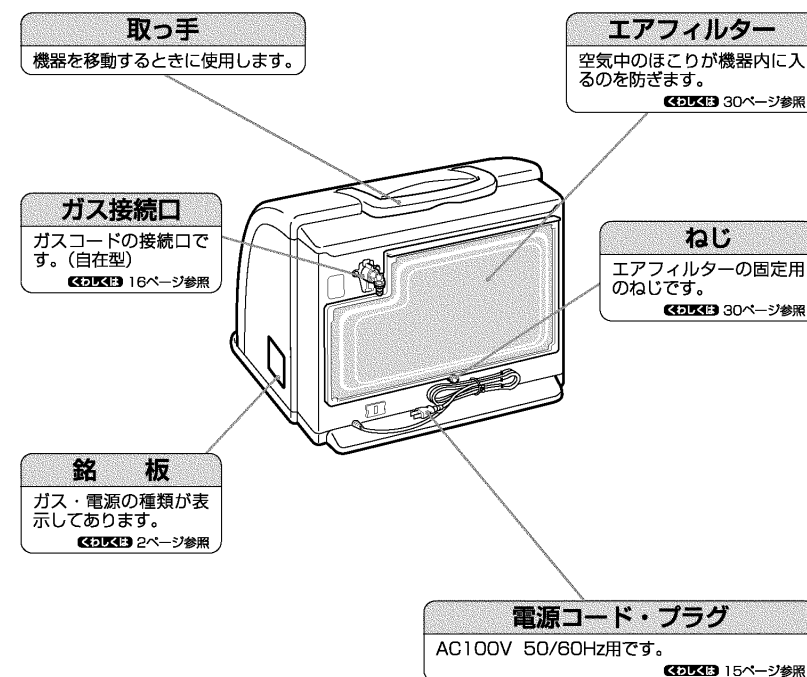
- ●不完全燃焼防止装置
- ●過電流防止装置
- ●立消え安全装置
- ●停電時安全装置
- ●過熱防止装置（サーミスター）
- ●過熱防止装置（温度ヒューズ）
- ●転倒時ガス遮断装置

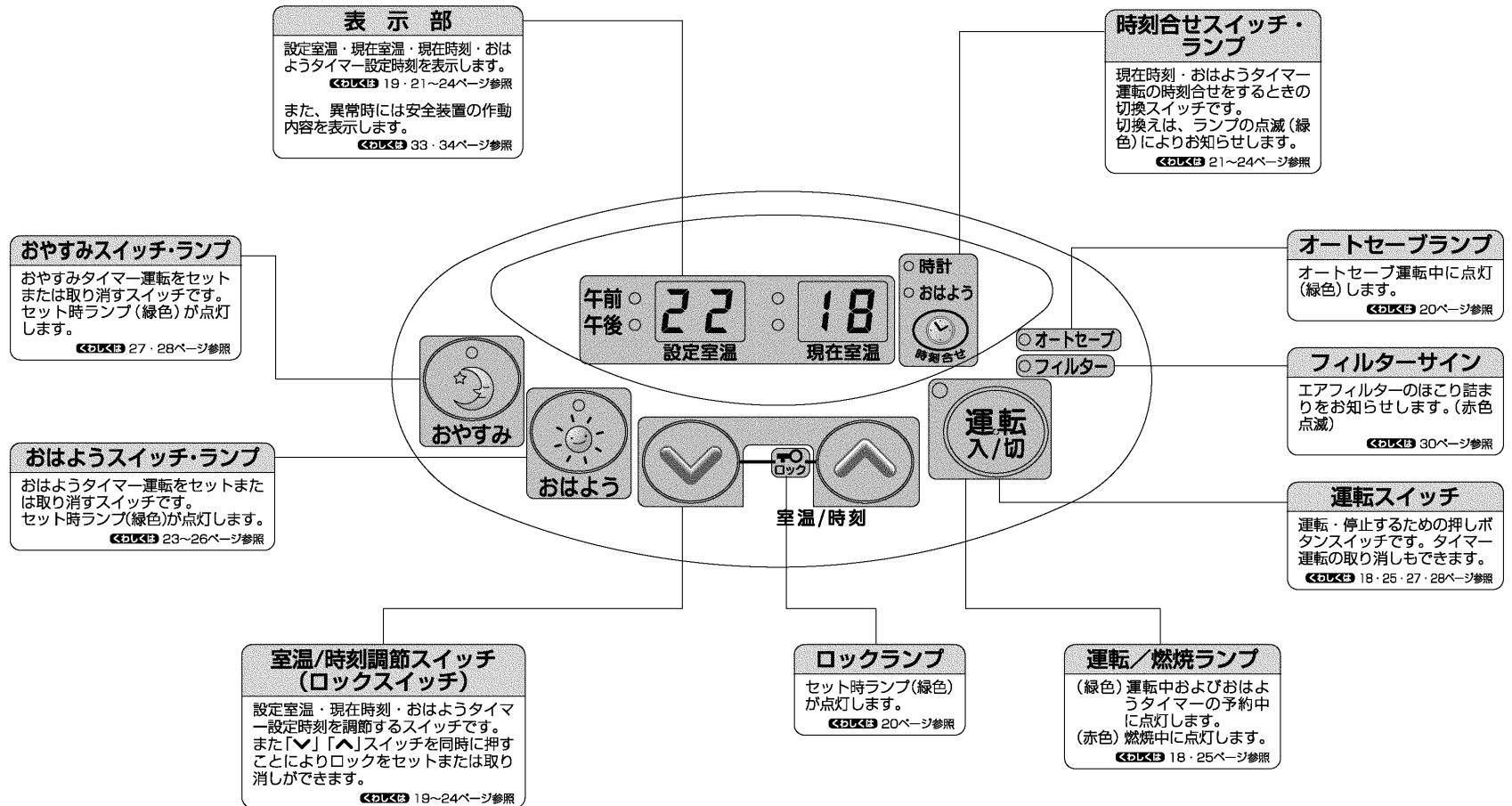
⋮

7種類の安全装置付

くわしくは 33・34ページ参照

各部のなまえとはたらき

ガスファンヒーターの各部のなまえとはたらきをご紹介します。

〈正 面〉　〈背 面〉

各部のなまえとはたらき

〈操作・表示部〉

機器の設置

設置前の準備と確認

●梱包をすべて取り除いてください。

各部分のあて紙や包装部材をすべて取り除きます。
ガス接続口には、輸送・保管時におけるゴミ混入防止のためキャップがついています。
必ず取り外して使用してください。

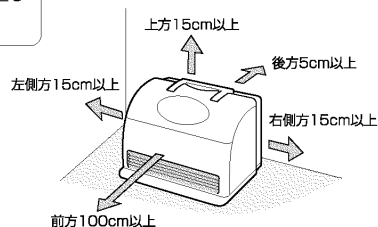
設置場所について

●火災予防のため、次のことを必ず守ってください。

⚠注意

必ず行う

周囲の可燃物からは、じゅうぶんに離して設置してください。

機器の前方は、　100cm以上
　　後方は、　　5cm以上
　　上方は、　15cm以上
　　両側方は、　15cm以上
燃えやすいものから離してください。
また、じょうぶで水平な場所に置いてください。

⚠注意

必ず行う

毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は、じょうぶで不燃性の敷板などを敷いて水平にしてください。
温風がじゅうたんにあたり変色するおそれがあります。

禁止

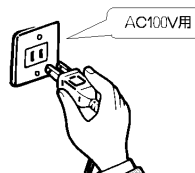
機器前方に機器設置面より高い段差がある場合は、機器を使用しないでください。
温風が段差にあたり変色するおそれがあります。

●機器の周囲が囲われていると、正しいお部屋の温度が検知できないことがあります。
●機器の後方が壁に近いと、安全装置が働いて運転が停止することがあります。

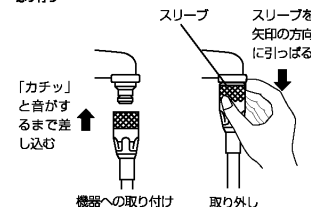
電源の接続

●電源プラグをコンセントに確実に差し込み接続してください。

お願い

電源コードは温風吹出し口の前を通したり、機器の下を通さないでください。

ガスの接続

ガスコードの取り付けは確実に行ってください。

⚠警告

お願い

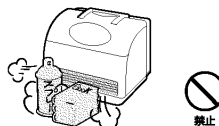
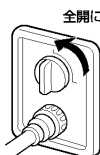
●ガスコードは継ぎ足して使用しないでください。
●ヒビ割れたりして古くなったガスコードは、必ず取り替えてください。
●ガスコードが、折れたり、ねじれたりしないようにできるだけ短く接続してください。
●ガスコードは、温度の高いところに触れたり、上に物を載せたりしないでください。
●ガスコードは、他の部屋まで延長したり、壁・天井などを通したりしないでください。
●ガス接続部に傷がついたり、異物が付着するとガス漏れの原因となりますので、ていねいに清潔にお取り扱いください。また、お使いにならない時は、キャップをガス接続口にはめてください。

●機器への取り付けにおいて不明な場合は、お買い上げの販売店、またはもよりのガス会社へ連絡してください。

初めてお使いになるときは

運転前の準備と確認

⚠警告

1 機器の近くにスプレー缶や燃えやすいものがないことを確認します。

2 ガス・電源の接続が確実であることを確かめ、お部屋のガス栓を全開にします。

お部屋のガス栓（例）

お願い

本製品は家庭用なので、業務用のような使い方をされますと著しく寿命が縮まります。

運転・停止のしかた

ガスファンヒーターの基本操作のしかたです。

お使いになられるときは、1〜8ページの「安全上のご注意」もあわせてお読みください。

運転のしかた

●運転スイッチを押します。

- ●運転／燃焼ランプが緑色に点灯します。
- ●表示部が時刻表示から室温表示になります。
- ●対流ファンが回転します。
- ●「5〜10秒」程で点火し、運転／燃焼ランプが緑色から赤色に変わり、バーナーに点火したことをお知らせします。

お願い

●初めてご使用になるときや、しばらく使わなかったときには、運転操作をしても配管内に空気があるため、1回の操作で点火しない場合があります。運転操作後、約30秒たっても点火しないときには、自動的に運転を停止します。（デジタル表示が「 *1 1* 」の点滅表示）。そのときは、運転スイッチを押して点滅表示を解除後、再度運転操作を行ってください。

●運転スイッチを押しつづけないでください。約15秒間押しつづけると、自動的に運転を停止します（デジタル表示が「 *70* 」の点滅表示）。そのときは、運転スイッチを押して点滅表示を解除後、再度運転操作を行ってください。

- ●点火・消火後に「コツコツ」「チリチリ」という音がすることがありますが、これは機器内部の金属が膨張・収縮して発生する音ですので故障ではありません。
- ●消火直後に運転スイッチを押した場合は、すぐには点火しません。約20秒たってから自動的に点火動作に入ります。
- ●ガスコードを脱着した場合はガスコード内に空気が入るため、運転開始時にいったん着火してから火が消えることがあります。このようなときには再点火機能（12A・13A，LP専用）によって自動的に1回だけ再点火動作を行います。（再点火で火がついたときには、運転/燃焼ランプが緑→赤→緑→赤に点灯します。）それでも火がつかないときには、表示部が「 *1 1* 」の点滅表示となり機器が停止します。

停止のしかた

●運転スイッチを押します。

- ●運転／燃焼ランプが消灯します。
- ●表示部が室温表示から時刻表示になります。
- ●約10秒後に表示部が暗くなります。
- ●消火後、対流ファンは数分間回転し続けてから停止します。これは機器内の温度が低くなるまで風で冷却しているためです。この間、電源プラグは抜かないでください。

⚠注意

燃焼中、電源プラグの引き抜きによる消火や、消火直後の電源プラグの引き抜きは行わないでください。機器の故障の原因になります。

●ロックがセットされているときは、停止してもロックランプは点灯しつづけ、ロックは取り消されません。

くわしくは 20ページ参照

室温調節のしかた

室温調節のしかた

室温表示・室温の設定および変更は、運転中しかできません。

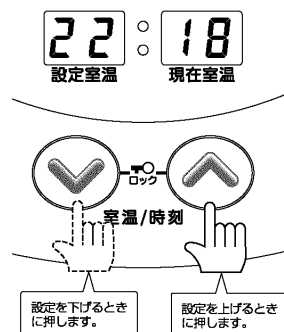
●室温調節スイッチを押し、室温を設定します。

●初めて運転されるときは、設定室温が22℃にセットされています。

●表示部を見ながら室温調節スイッチを押し、ご希望の室温にセットしてください。

●設定室温は「L」(約10℃)「16」～「26」「H」(連続して強燃焼)の範囲でセットできます。

●現在室温は「L」(0℃以下)、「1」～「30」及び「H」(31℃以上)の範囲で表示をします。

●一度セットした設定室温はマイコンが記憶しています。

お願い

お部屋の構造、設置場所、室外温度などによっては、設定された室温にならない場合があります。
また、弱燃焼になってもお部屋の温度が上がっていくことがありますので、このときは、いったん運転を停止してください。

●室温表示は、機器裏面の感温部の温度を表示していますので、お部屋の温度とは多少異なる場合があります。表示される室温は、目やすとしてください。特に機器消火後しばらくして再度運転した場合は点火後3～4分間現在室温が高く表示されることがあります。

●運転開始後しばらくの間、お部屋を早く暖めるため、現在室温が設定室温より高く表示されることがあります。

ロックのしかた

ロックのしかた

小さなお子様のいたずらによる事故を防止するため、ロック機能がついています。

●「∨」スイッチと「∧」スイッチを同時に押します。

「ロック」ランプ(緑色)が点灯します。

■ロックの取り消しかた

「∨」スイッチと「∧」スイッチを同時に1秒以上押します。
(「ロック」ランプが消灯します。)

●運転中にロックをセットしたときは、運転スイッチの停止操作以外は、操作できなくなります。
●停止中にロックをセットしたときは、すべてのスイッチの操作ができなくなります。
●ロックランプ点灯中に運転する場合は、ロックを取り消してから運転スイッチを操作してください。
●電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときでも、ロックの状態を記憶しています。

■オートセーブ運転とは

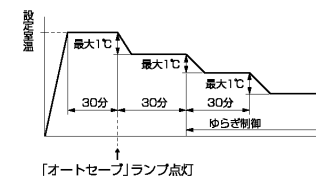
お部屋を暖房し、壁や天井などが暖まってくると、冷えている時に比べて同じ室温でも人体には少し暖かく感じます。そこで暖め過ぎによる不快感の防止や燃焼量を低減させる目的で、室温が設定室温に達したら、機器が自動的に設定室温より低く室温調節をする運転機能です。

●お部屋の温度が設定室温に到達後、30分ごとにお部屋にあった下げ幅(最大1℃)で、3回にわたり設定室温を自動的に下げます。2回目以降ゆらぎ制御を行います。(ゆらぎ制御とは、燃焼量・風量を細やかに変化させ、冷風感をなくす制御です。)

「オートセーブ」ランプ点灯

●オートセーブ運転になると「オートセーブ」ランプが点灯し、オートセーブ運転中であることを知らせます。

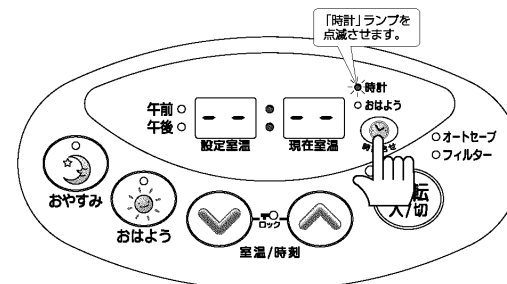
●運転を開始し、数分経過した時の設定温度が「L」、「16」の場合および「26」、「H」の場合には、オートセーブは働きません。

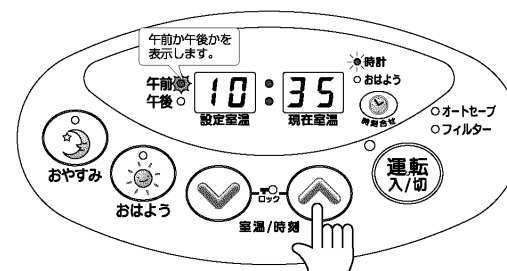
●オートセーブ運転中は、現在室温が設定室温より低く表示されることがありますが故障ではありません。

現在時刻の合せかた

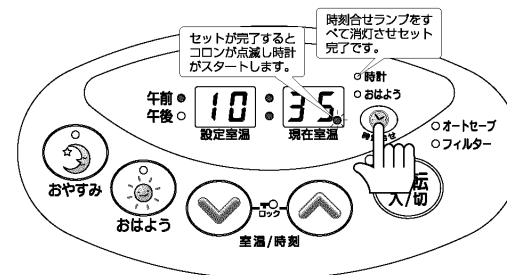
時刻を合せなくても、通常の運転に支障ありませんが、おはようタイマー運転はできません。表示部を時計としてお使いになるときやおはようタイマー運転をするときには、次の手順で時刻を合せます。

例：午前10時35分に合せるとき

1 「時刻合せ」スイッチを1回押します。

●表示部に、時刻が表示され、「時計」ランプが点滅します。
●初めて時刻合せをするときは、表示部に「－－:－－」が表示されます。2回目以降は、記憶している時刻が表示されます。

2 「へ」スイッチを押して、午前10時35分に合せます。

●「へ」スイッチを1回押すと時刻が1分進みます。
●「へ」スイッチを押しつづけると、表示が連続して変わります。
連続して押し続けると「00」分になったあと、時の桁が1時間ずつ進みます。
「午前10：00」でいったん指をはなし、再度押しなおし「午前10：35」で指をはなします。
●「∨」スイッチを押すと逆の動きになります。

3 「時刻合せ」スイッチを2回押し時刻合せ完了です。

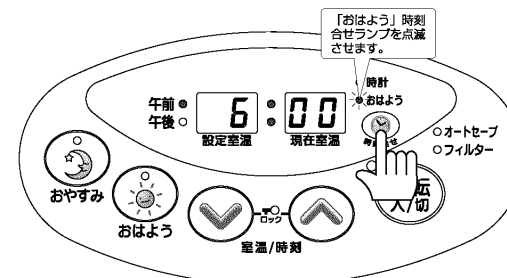
●「時計」ランプと「おはよう」時刻合せランプが消灯し、時刻合せの完了です。
「時刻合せ」スイッチを押した時点で午前10時35分0秒からスタートし、表示部のコロンが点滅し時計が動きます。
●約10秒後に表示部が暗くなります。

●時刻表示は、昼の12時は「午後0：00」夜の12時は「午前0：00」に合せます。
●時刻表示の訂正も、上記手順の1～3の操作をします。
●電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは時刻が停止します。再通電したとき表示部は「－－:－－」を表示します。そのときはあらためて時刻合せをしてください。

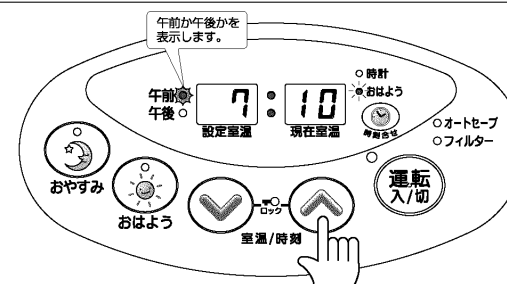
おはようタイマー時刻の合せかた

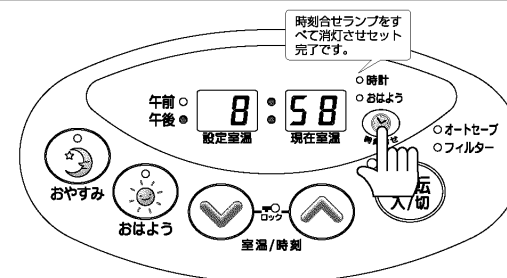
このおはようタイマーは、セットした時刻に運転を開始するタイマーです。

例：おはようタイマーを午前7時10分に合せるとき：現在時刻は午後8時58分

1 「時刻合せ」スイッチを2回押します。

●表示部に時刻が表示され「おはよう」時刻合せランプが点滅します。
●はじめて時刻合せをするときは、表示部に「午前6：00」が表示されます。

2 「∧」スイッチを押して、午前7時10分に合せます。

●「∧」スイッチを1回押すと時刻が1分進みます。
●「∧」スイッチを押しつづけると、表示が連続して変わります。
連続して押し続けると「00」分になったあと、時の桁が1時間ずつ進みます。
「午前7：00」でいったん指をはなし、再度押しなおし「午前7：10」で指をはなします。
●「∨」スイッチを押すと逆の動きになります。

3 「時刻合せ」スイッチを1回押しセット完了です。

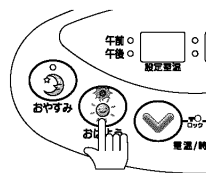
●時刻合せ部分の「おはよう」時刻合せランプが消灯します。
●約10秒後に表示部および各ランプが暗くなります。

おはようタイマー運転のしかた

おはようタイマー運転のしかた

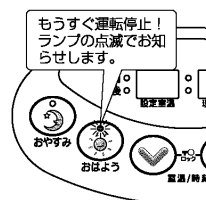
1 おはようタイマー運転の前に確認してください。

●お部屋のガス栓は全開にしてください。
●時刻表示は、現在時刻と合っていますか。(合っていないときは、21ページをごらんください。)
●おはようタイマー時刻はセットされていますか。(セットしていないときは、23ページをごらんください。)
●室温調節は、セットされていますか。(セットしていないときは、19ページをごらんください。)
●温風方向に障害物や可燃物はありませんか。(特に温風が、じかに身体にあたらないようにしてください。)

2 「おはよう」スイッチを押します。

●「おはよう」ランプと運転／燃焼ランプ(緑色)が点灯しセット完了です。(約10秒間おはようタイマー時刻が表示され、その後現在時刻が表示されます。)
●約10秒後に表示部および各ランプが暗くなります。
●おはようタイマーは、運転中でも停止中でもセットできます。(運転中にセットしますと、「おはよう」スイッチを押したとき、燃焼が停止し、運転／燃焼ランプが赤色から緑色に変わり、待機状態になります。)

3 セットした時刻に運転を開始します。

4 セットした時刻から1時間経過後に運転を停止します。

●運転を停止する前(約55分経過後)に「おはよう」ランプの点滅で、約5分後に運転を停止することをお知らせします。
●停止すると、「おはよう」ランプは点滅しつづけ運転／燃焼ランプは消灯します。(ロックがセットされていれば、「ロック」ランプは点灯しています。)
●運転スイッチを押すと「おはよう」ランプは消灯します。
●約10秒後に表示部および各ランプが暗くなります。

■おはようタイマー運転の取り消しかた

「おはよう」スイッチを再度押すか、運転スイッチを押します。
予約が取り消され、ランプが消灯します。
(ロックがセットされているときは、ロックを解除してから操作してください。)

お願い

●おはようタイマー時刻は、一度セットすると記憶されます。次回から同じ時刻に運転するときは、あらためてセットする必要はありません。変更するときは、あらためてセットしなおしてください。
●おはようタイマー運転開始前に電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、おはようタイマー運転のセットが解除され、おはようタイマー運転は開始されません。再通電したときはデジタル表示部が「00」の点滅表示をします。運転スイッチを押して「00」を解除後、再度現在時刻をセットしてください。

おはようタイマー運転の開始時間について

●おはようタイマーセット時刻に運転を開始します。

●タイマー運転中は設定温度が「H」の場合でも、自動的に26℃の設定で運転します。

●一度セットしたおはようタイマーの時刻はマイコンが記憶しています。

●セット時刻を変更したいときは、再度23ページの おはようタイマー時刻の合せかた にしたがって時刻をセットしなおしてください。

お願い

●タイマー運転待機中に転倒したときは、デジタル表示部が「03」の点滅表示となり、タイマー運転しない場合があります。(転倒した時は機器を起こした後、)運転スイッチを押して「03」を解除後、再度25ページ おはようタイマー運転のしかた にしたがってセットしてください。
●時刻合せをしないとタイマーは運転できません。

おやすみタイマー運転のしかた

おやすみタイマー運転のしかた

寒い夜など、暖房をしたままおやすみになりたいときは、おやすみ前にセットしておくと1時間後(「おやすみ」スイッチを押してから)に運転を自動で停止します。

1 「おやすみ」スイッチを押します。

- ●「おやすみ」ランプが点灯しセット完了です。
- ●おやすみタイマー運転は、運転中でも停止中でもセットできます。
- ●機器停止中にセットしたときは、セット後すぐに運転を開始します。

2 1時間経過後に運転を停止します。

- ●運転を停止する前(約55分経過後)に「おやすみ」ランプの点滅で約5分後に運転を停止することをお知らせします。
- ●停止すると、表示部は現在時刻を表示し、ランプ類はすべて消灯します。(ロックがセットされていれば、ロックランプは点灯しています。)
- ●約10秒後に表示部(ロックがセットされていれば、ロックランプも)が暗くなります。

もうすぐ運転停止！
ランプの点滅でお知らせします。

■おやすみタイマー運転の取り消しかた

運転スイッチまたは、「おやすみ」スイッチを押します。

⚠注意

禁止

おやすみになるときは、タイマー運転以外では使用しないでください。

●おやすみタイマー運転時は設定室温が「H」の場合でも、自動的に26℃の設定で運転します。

おやすみとおはようの組み合せタイマー運転について

おやすみタイマー運転とおはようタイマー運転は組み合せてご使用になれます。

おやすみタイマー運転中に「おはよう」スイッチを押します。(「おはよう」ランプ点灯)

●おやすみタイマー運転(1時間)が終了しますと、おはようタイマー運転の待機状態になります。

おはようタイマー運転の待機中に「おやすみ」スイッチを押します。(「おやすみ」ランプ点灯)

●燃焼を開始し、おやすみタイマー運転(1時間)が終了しますと、おはようタイマー運転の待機状態になります。

■おやすみタイマー運転の取り消しかた

「おやすみ」スイッチを押します。(「おやすみ」ランプ消灯)

■おはようタイマー運転の取り消しかた

「おはよう」スイッチを押します。(「おはよう」ランプ消灯)
(ロックがセットされているときは、ロックを解除してから操作してください。)

●組み合わせタイマー運転中に運転スイッチを押すと、全てのタイマー運転が取り消され、運転を停止します。

記憶機能

設定室温及び、おはようタイマー運転のセット時刻は、一度セットすればマイコンが記憶します。
電源プラグをコンセントから抜いた場合でも、次回運転するときに同じ時刻であれば、あらためてセットする必要はありません。
電源プラグをコンセントから抜いた場合、現在時刻はセットする必要があります。

くわしくは 21・22ページ参照

日常の点検とお手入れ

安全にお使いいただけるように、点検とお手入れは定期的に行ってください。

⚠警告

分解禁止

●エアフィルター脱着以外は、絶対に分解しないでください。
●修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
異常動作してけがや事故の原因となります。

日常の点検

点検のポイント……次のチェックポイントを点検してください。

お願い

●日常の点検・お手入れの際には、運転を停止して必ずガス栓を閉じ、機器がじゅうぶんに冷えてから電源プラグをコンセントから抜いてください。
●機器本体には安全に関するご注意ラベルが張り付けてあります。汚れたり、読めなくなった時は、やわらかい布などで汚れを拭き取ってください。また、お手入れの際に、はがれないように注意してください。もし、はがれたり読めなくなった場合は、お買い上げの販売店、またはもよりのガス会社で新しいラベルをお買い求めのうえ、張り替えてください。

お手入れ

お願い

●お手入れの際は、けがを防ぐためにも、手袋をはめて行うことをおすすめします。

●機器のお手入れ（１カ月に１回程度）

汚れたらそのつどお手入れをしてください。
●やわらかい布をぬるま湯でぬらしてよくしぼってから拭いてください。特に汚れのひどいときは、やわらかい布に台所用中性洗剤をつけて拭き取ってください。

お願い

●化学ぞうきんやアルカリ性洗剤、ベンジン、シンナーなどは、絶対に使用しないでください。塗装の色があせたり、樹脂製の部品が変色したりします。

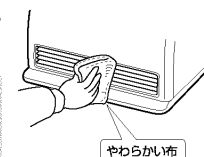
●温風吹出し口のお手入れ（１カ月に１回程度）

⚠注意

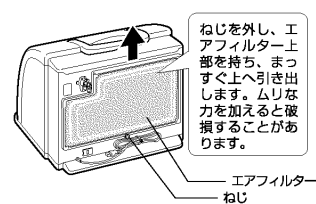
1カ月に1回程度は、温風吹出し口のほこりを、電気掃除機などで掃除してください。
●温風吹出し口のお手入れは、運転を停止してルーバーがじゅうぶんに冷え、対流ファンが止まり温風が出なくなったのを確かめてから行ってください。
●温風吹出し口のルーバーを、強く押えたり、衝撃を加えたりしないでください。
ルーバーが折れたり、曲がったりして、温風の方向が変わり、床（カーペットなど）が変色することがあります。

●温風吹出し口に白い粉や汚れが付着することがありますが、異常ではありません。そのようなときは、やわらかい布で拭き取ってください。

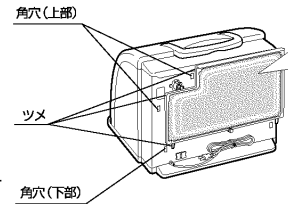
お願い

●化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどは、絶対にご使用にならないでください。

●エアフィルターのお手入れ（１カ月に１回程度）

●1カ月に1回程度は、掃除をしてください。
●フィルターサインが点滅したときは、必ずエアフィルターの掃除をしてください。
●エアフィルターのお手入れは、運転を停止させ、対流ファンが止まり温風が出なくなったのを確かめてから行ってください。
●電気掃除機のブラシなどを使ってエアフィルターを装着したままほこりを吸い取ってください。汚れがひどい場合は、エアフィルターを取り外し、はたきややわらかいブラシなどで、詰まっているほこりを取り除いてください。
●油などでとくにひどい汚れが付着しているときは、エアフィルターを取り外し台所用中性洗剤で手早く洗い、水気をよくきってからじゅうぶんに乾燥させてください。

〈取り外しかた〉

ねじを外し、エアフィルター上部を持ち、まっすぐ上へ引き出します。ムリな力を加えると破損することがあります。

エアフィルター
ねじ

〈取り付けかた〉

エアフィルター上部を持ち、下部のツメを後板の角穴（下部）に差し込み、上部のツメを後板の角穴（上部）に確実にセットし、ねじを締めてください。

●はじめてねじを外すときは、かたい場合がありますので⊕ドライバーを使用してください。
●エアフィルターを取り外したまま運転すると機器の故障の原因になります。掃除後は必ず元の位置に確実にセットし、ねじを締めてください。
●エアフィルターがほこり詰まりをしたり、温風吹出口に障害物があったり、機器の後方と壁が近かったりしたときは、機器内が異常に過熱します。フィルターサイン点滅後も運転を続けると、機器が自動的に運転を停止することがあります。
●エアフィルターの網部に水が付着していると、ほこり詰まりと同じ状態となり運転しないときがあります。お手入れ後の水気はじゅうぶんにきってください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ってもよく調べてみると故障でない場合もあります。
修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。

次のことを調べてください

現　　象	点 検 の ポ イ ン ト	くわしくは
運転スイッチを押しても運転しない（運転／燃焼ランプが緑色に点灯しない）	●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	15ページ
	●ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか。	−
	●停電ではありませんか。	−
	●ロックがセットされていませんか。	20ページ
点火しない（運転／燃焼ランプが赤色に点灯しない）	●お部屋のガス栓は全開になっていますか。	17ページ
	●ガス管（ガスコード）内に空気が残っていませんか。	18ページ
	●マイコンメーターが作動していませんか。	※1
使用中に消火する	●エアフィルターにほこりがたまっていませんか。（フィルターサインは点滅していませんか。）	30ページ
	●温風吹出し口がふさがれていませんか。	15ページ
	●機器の後方と壁の距離は5cm以上ありますか。	15ページ
	●マイコンメーターが作動していませんか。	※1
よく暖まらない	●設定室温が低くありませんか。	19ページ
	●お部屋の窓や戸が開いていませんか。	−
	●お部屋のガス栓は、全開になっていますか。	17ページ
	●機器前方100cm以内に物が置いてありませんか。	15ページ
	●お部屋の大きさと機器の仕様（暖房の目やす）が合っていますか。	37ページ
ガス臭い	●ガスコードの接続は確実にされていますか。	16ページ
	●ガスコードがいたんでいませんか。	16ページ

※1　お近くのガス事業者に連絡してください。

こんなときは故障ではありません

現　　象	原 因 と 対 策
シーズン始めや、長期間運転しなかった後、ガスコードを脱着した後になかなか点火しない。	ガスコード内に空気が残っているためです。点火（運転／燃焼ランプが赤色に点灯）するまで運転操作をくり返します。
ガスコードを脱着した後の運転開始時に、運転/燃焼ランプが緑→赤→緑→赤に点灯する。	ガスコード内に空気が入ったことにより、再点火機能（12A・13A、LP専用）が作動したためです。
初めて運転したときや、しばらくご使用にならなかった後の運転開始時に、煙やにおいがでる。	機器内部の部品などに付着している油やホコリが焼けるためです。しばらく換気しながらご使用ください。また、フローリングのワックスなどが温風に加熱されて、におうことがあります。
点火したときや、停止した後「コツン」「コツン」という音がする。	ガス通路を開閉するための電磁弁（電気で開閉するガス弁）が作動するときの音です。
点火したときに、「ボッ」という音がする。	点火音がする場合があります。
運転中に、「シャー」という音がする。	ガスの通過音がする場合があります。
点火後や、停止後に「チリ」「チリ」とキシミ音が出る。	機器内部の部品などが加熱や冷却される際に金属が膨張、収縮して発生する音です。
停止してもすぐに対流ファン（温風）が停止しない。	機器内部を冷やしてから自動的に止まります。
停止後、再度運転操作をしてもすぐに点火しない。	内部が冷えるまでしばらく待ち、約20秒たってから自動的に点火します。
誤って電源プラグを抜いてしまったため、すぐ差し込んで運転操作をしたが、点火しない。	内部が冷えるまで数分間待ってから、再度運転操作をしてください。
おはようタイマー運転操作をしたのに停止する。	おはようタイマー運転をした場合、1時間たつと自動的に停止します。再度運転操作をしてください。

●このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店、またはもよりのガス会社へご連絡ください。

⚠警告

絶対にお客様ご自身で修理なさらないでください。
不備がありますと火災・感電などの原因になります。

安全装置が作動したときの処置

この機器には、安全装置が作動したときのお知らせ機能がついています。使用中に、機器が停止したら安全装置が作動していないか調べてください。

安全装置作動時の表示（表示部と運転／燃焼ランプ）	安全装置	働き
12（12点滅） 運転／燃焼ランプ（赤色点滅）	不完全燃焼防止装置	不完全燃焼をする前に、ガスを止め運転を停止します。
12（12点滅） 運転／燃焼ランプ（赤色点滅）	立消え安全装置	使用中にバーナーの炎が消えてしまったとき、ガスを止め運転を停止します。
11（11点滅） 運転／燃焼ランプ（赤色点滅）	立消え安全装置	点火時、バーナーに着火しなかったときなどに安全装置が働き、ガスを止め運転を停止します。
03（03点滅） 運転／燃焼ランプ（赤色点滅）	転倒時ガス遮断装置	機器が倒れたときに、ガスを止め運転を停止します。
14（14点滅） フィルターサイン点滅 運転／燃焼ランプ（赤色点滅）	過熱防止装置（サーミスター）	機器内が異常過熱したときに、ガスを止め運転を停止します。
14（14点滅） フィルターサイン点滅 運転／燃焼ランプ（赤色点滅）	過熱防止装置（温度ヒューズ）	機器内が異常過熱したときに、ガスを止め運転を停止します。
（消灯） 運転／燃焼ランプ ○（消灯）	過電流防止装置（電流ヒューズ）	過電流が流れたときに、ヒューズを切り、運転を停止します。
停電時（消灯） 運転／燃焼ランプ ○（消灯） 再通電 00（00点滅） 運転／燃焼ランプ（赤色点滅）	停電時安全装置	停電中は使用できません。安全装置が働き、ガスを止め運転を停止します。

●このほかの表示が出たときにも修理が必要です。お買い上げの販売店、またはもよりのガス会社にご連絡ください。

お部屋の換気不足で不完全燃焼防止装置が作動した後、じゅうぶんにお部屋の換気をせずに再運転しますと「11 点滅」「12 点滅」「14 点滅」などを表示して運転をしない場合があります。じゅうぶんにお部屋の換気を行った後、再運転してください。

原因	処置方法
しめ切った部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼して、一酸化炭素を発生する危険があります。エアフィルターが詰まっても同様です。	じゅうぶんに部屋の換気を行い、エアフィルター部の掃除を行った後、再運転してください。
ガス栓が開きたりなかったときや、ガスコードを脱着したあとなどにおこります。	点検後、再運転してください。
ガス栓が閉じられていたり、開きたりなかったときなどにおこります。	点検後、再運転してください。
点火したまま機器を持ち運んだり、機器が倒れたときなどにおこります。	機器を起こした後、再運転してください。
エアフィルターが、ほこり詰まりしていたり、温風吹出し口に障害物があるときなどにおこります。	エアフィルター部の掃除や、障害物を取り除いた後しばらく（5～6分）してから再運転してください。（電源プラグは対流ファンが回っているあいだは抜かないでください。）
エアフィルターや、温風吹出し口がふさがれたときなどにおこります。	修理が必要です。**お買い上げの販売店、またはもよりのガス会社へご連絡ください。**
電気回路がショートしたときなどにおこります。	修理が必要です。**お買い上げの販売店、またはもよりのガス会社へご連絡ください。**
停電により停止した。	通電したら再運転してください。（停電中は必ずガス栓を閉じておいてください。）

●安全装置が作動したあと、点検して再運転しても、たびたび同じように作動をくりかえすような場合は、お買い上げの販売店、またはもよりのガス会社にご連絡ください。

保管とアフターサービス

保管（長期間使用しない場合）

⚠注意

必ず行う

ガス栓を閉じ、電源プラグをコンセントから抜き、ガスコードを取り外してください。

●機器の点検・お手入れをしてから保管してください。

●各部の汚れを取り除き、ほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけてください。
●特にガス接続口やガスコードには、ほこりやごみが入ってガス通路を詰まらせないように、付属のキャップをしてください。
●湿気やほこりの少ないところに保管してください。
●お求めになったときの箱に入れておかれると便利です。
●ベランダなど直射日光の当たる場所や高温になるところでの保管は樹脂部分の変色や変形のおそれがありますのでお避けください。

アフターサービスについて

●サービスのお申し込み

31・32ページの「故障かな？と思ったら」の項を見てもう一度ご確認ください。

⚠警告

禁止

確認のうえ、それでも不具合がある場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。（別添の「大阪ガスのお問い合せ先」参照）
そのままご使用になりますと、故障や感電・火災の原因になります。

なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。
(1) 品名…ガスファンヒーター
(2) 品番…本体背面に貼付してあります。

（例）
（140-2002の13Aの場合）

(3) 現象（できるだけくわしく）
(4) お名前・ご住所・電話番号・道順（できるだけくわしく）

●転居されるとき

⚠警告

連絡する

ガスには都市ガス13種類およびＬＰガスの区分があります。
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、転居先のもよりのガス事業者にご相談ください。
ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

●転居にともなう調整や改造の費用は、保証期間内でも有料となります。

●保証について

この機器には、保証書がついています。
●保証期間中は
保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。くわしくは、保証書をご覧ください。
保証書を紛失されますと、無料期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
●保証期間経過後の故障修理について
お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

●補修用性能部品の保有期間について

●補修用性能部品の保有期間は、当製品の製造打切後7年間となっています。なお、補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。
ただし、保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

●点検整備のおすすめ（有料）

●長期間、安全快適にご使用いただくために定期的に（3シーズンに1回程度）「点検整備」を受けられることをおすすめします。
●「点検整備」は、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにご用命ください。（有料）
●「点検整備」の内容は、下記の通りです。
①機能部品の点検、確認
②掃除整備

仕様

暖房の目やすは温暖地を基準にしております。

品番		140-2002，140-2012
種類	燃焼方式	ブンゼン燃焼式
	給排気方式	開放式
	放熱方式	強制対流式
点火方式		連続放電点火方式
暖房の目やす	木造家屋	6畳まで
	コンクリート造家屋	9畳まで
外形寸法（mm）		高さ320×幅380×奥行227（脚部265）
質量（本体）		6.7kg
電気関係	電源	AC100V　50/60Hz
	消費電力（50/60Hz）	28/30W（通電時約2.5/2.5W）
	電源コード長さ	2m
安全装置		不完全燃焼防止装置（熱電対式）・立消え安全装置（熱電対式） 転倒時ガス遮断装置・過熱防止装置（温度ヒューズ、サーミスター） 過電流防止装置（電流ヒューズ）・停電時安全装置
付属品		取扱説明書・保証書・大阪ガスのお問い合わせ先

使用ガス・使用ガスグループ		型式名	1時間当りのガス消費量	ガス接続
都市ガス用	13A	RC-290N-1	2.44～0.52kW（2100～450kcal/h）	ガスコード
	12A	RC-290N-1	2.28～0.49kW（1960～420kcal/h）	ガスコード
LPガス用		RC-290N-2	2.44～0.76kW（0.175～0.054kg/h）	ガスコード

寸法図

単位：mm